

## 2023・2024年合格目標

## オリエンテーション

## ①公務員試験の基本的な流れ

## ②基本的な勉強方針

## はじめに

公務員試験の勉強を始めるにあたっての最大のハードルは、「そもそもどんな試験なの?」「イメージ概要が掴めないんだけど、どう勉強したらいいの?」という不安なのではないでしょうか。試験種ごとに試験科目も異なり、試験形態も異なります。いったい何から手を付ければいいのか分からないというのが、正直なところなのかもしれません。

そこでこのような不安を払拭してもらおうというのが、今回のオリエンテーションの意義です。まずは①**公務員試験の流れ**を把握してもらおうと思います。全体の流れを俯瞰した上で、個別の試験ごとに細かく試験概要を見ていくことにします。また、試験概要をふまえてまずは最初の段階で押さえておくべき②**基本的な勉強方法**を紹介します。今後勉強を進めるうえで心掛けてほしいことがありますので、参考にしてください。なお、皆さんにお渡しした**オリエンテーションブック**には、たくさんの有益な情報が詰め込まれています。これを十分に活用して、勉強を進める際の指針にしていきたいと思います。

公務員試験は民間企業の就職試験と異なり、筆記試験のウェイトが非常に大きい試験です。なるべく「**広く浅く**」を意識するとともに、所要所では「**要領良くこなす**」ことが求められる試験になっています。くれぐれも**完璧主義に陥らず、適切な戦略を立てて臨みましょう**。

## 公務員試験の基本的な流れ

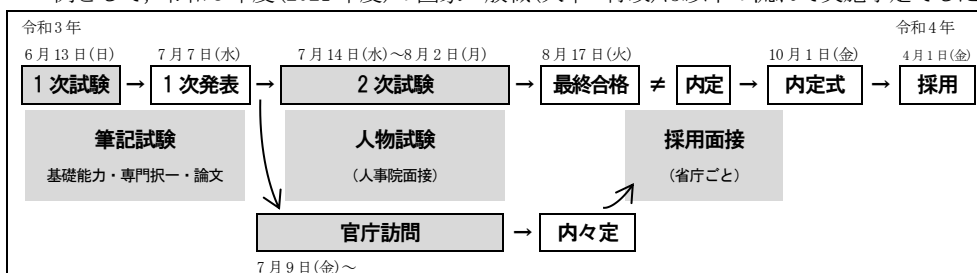
## 1. 受験資格（オリエンテーションブック P.14 参照）

国籍・年齢要件のみです。これさえ満たしていれば、原則として**試験の点数のみで評価される公平な試験**といえます。以下は令和3年度（2021年度）試験の年齢要件の例です。

試験種	年齢要件	受験する年の4月1日時点
国家一般職	1991(平成3)年4月2日～2000(平成12)年4月1日生まれ	21歳以上 30歳未満
国税・財務・労基	1991(平成3)年4月2日～2000(平成12)年4月1日生まれ	21歳以上 30歳未満
裁判所一般職	1991(平成3)年4月2日～2000(平成12)年4月1日生まれ	21歳以上 30歳未満
東京都I類B	1992(平成4)年4月2日～2000(平成12)年4月1日生まれ	21歳以上 29歳未満
特別区I類	1990(平成2)年4月2日～2000(平成12)年4月1日生まれ	21歳以上 31歳未満
埼玉県	1991(平成3)年4月2日～2000(平成12)年4月1日生まれ	21歳以上 30歳未満
神奈川県	1991(平成3)年4月2日～2000(平成12)年4月1日生まれ	21歳以上 30歳未満
国立大学法人等	1991(平成3)年4月2日以降生まれ	21歳以上 30歳未満

## 2. 試験の流れ (オリエンテーションブック P.15 参照)

一例として、令和3年度(2021年度)の国家一般職(大卒・行政)は以下の流れで実施予定でした。



### (1) 代表的な試験種の試験の流れ…令和3年度(2021年度)の例

令和3年度(2021年度) 東京都I類B (行政・一般方式)		
告示		3月5日(木)
申込受付	インターネット	4月2日(金)10:00~4月8日(木)15:00
1次試験(筆記)		5月2日(日)
1次試験合格発表		6月2日(水)10:00
2次試験(面接)		6月15日(火)~6月23日(水)の間で指定する1日
最終合格発表		7月13日(火)10:00
採用		令和4年4月1日(金)以降
<p>最終合格者は、採用候補者名簿に得点順に記載されます。人事委員会は、任命権者の請求を受けて採用候補者名簿を提示し、任命権者は、採用候補者に就職の意向聴取・身体検査や採用説明会等を行います。採用内定者に対しては、任命権者が個別に通知します。</p> <p>特別区と異なり、最終合格しても採用されない(採用漏れ)というケースはまずありません。</p>		

令和3年度(2021年度) 特別区I類(事務)		
告示(願書配布開始)		3月19日(金)
申込受付	インターネット	3月19日(金)10:00~4月5日(月)17:00
1次試験(筆記)		5月2日(日)
1次試験合格発表		6月25日(金)10:00
2次試験(面接)		7月6日(火)~7月16日(金)までの間で指定する1日
最終合格発表		8月4日(水)10:00
採用		令和4年4月1日(金)以降
<p>最終合格者は、採用候補者名簿に得点順に記載されます。その後、願書に記載された第1希望区を重視し、人事委員会から各区に対し高得点順に提示(推薦)が行われ、採用候補者は、区からの面接の連絡を待つことになります(受験生の側から自由に希望する区の面接を受けることはできません)。</p> <p>その後、各区ごとに面接が行われ、各区ごとに採用内定が出されることになります。採用内定が得られない場合(不選択の場合)は、再び提示が行われ、他の区から連絡が来るのを待つことになりますが、状況によっては提示されず、その結果採用されない場合もあり得ます。</p>		

令和3年度(2021年度) 国家一般職(大卒・行政)		
申込受付	インターネット	4月2日(金)9:00~4月14日(水)
1次試験(筆記)		6月13日(日)
1次試験合格発表		7月7日(水)9:00
2次試験(面接)		7月14日(水)~8月2日(月)
最終合格発表		8月17日(火)9:00
採用内定		10月1日(金)以降
採用		令和4年4月1日(金)以降
<p>本省庁を例にとると、実際には<b>1次試験実施後から官庁独自の業務説明会が行われる</b>ので、ここでパンフレットの入手など、<b>事実上の官庁訪問</b>をすることになります。また、例年、人事院の主催する合同説明会が7月上旬~中旬に実施されます。官庁や出先機関によっては、説明会の段階から選考をしているところも存在しますので、興味があるところには早めに足を運ぶようにしましょう。</p> <p>平成30年度までは最終合格の発表があつてから官庁訪問が開始されていたので、最終合格者だけが官庁訪問をするスケジュールになっていましたが、令和元年度からは<b>最終合格発表前に官庁訪問が開始される</b>ことになっています。<b>官庁訪問で内々定をもらっても人事院の試験で不合格になってしまうというケースがあり得ます</b>から、官庁訪問が無駄になることのないよう、2次試験の人事院面接は確実に突破できるように準備していく必要があります。</p>		



## Advice!

「公務員試験」とひとくちに言っても、実際には多くの省庁・機関・自治体がありますから、選考の流れはバラバラです。しかし、多くの試験で共通していることは「**最終合格≠内定**」ということです。程度の差はあれ、合格後に何かしらの選考過程が挟まることが大半ですので、その違いや特徴を押さえておくとういでしょう。

いずれの試験でも共通しているのは、「**最終合格=採用候補者名簿に名前が載ること**」です。そして、ここから先の流れが試験によって異なってくるわけです。原則となるのは、**東京都I類B**の選考過程です。多くの公務員試験(特に地方上級試験)は、東京都I類Bのように最終合格後に採用面接があるものの、基本的にここでは落とされることがなく、事実上「**最終合格≒内定**」という扱いになるケースです。面接試験はすでに突破しているわけですから、自身の思っていること、意向をしっかりと伝えることを心がけましょう。

一方、大きく異なってくる代表例が特別区I類と国家一般職でしょうか。**特別区I類**は最終合格後に区面接が課されますが、この面接は区から呼ばれないと受けることができないうえ、不合格(不選択)が連続するケースが少なからず見られます。なぜその区を志望するのか、そして何よりその区の職員として上手くやっていけるということをしっかりアピールする必要があります。また、**国家一般職**は「官庁訪問」という厄介な選考システムが存在します。こちらは受験生の側からどんどんアプローチしていけるのですが、どのタイミングで内々定がもらえるのかは省庁によって異なりますから、「先が見えない戦い」になりやすいところもあります。

ただし、どちらにしても最終合格すれば多くのケースで内定がもらえますので、あまり怖がりすぎることなく、**自分の「良さ」を伝える**ようにしましょう。

## (2) 主な試験種の1次試験日程 (オリエンテーションブックP.16 参照)

令和2年度(2020年度)		令和3年度(2021年度)	
4月	12日(日)	4月	11日(日)
	26日(日)		25日(日)
5月	2日(土)	5月	1日(土)
	3日(日)		2日(日)
	9日(土)		8日(土)
	10日(日)		9日(日)
	16日(土)		15日(土)
6月	7日(日)		16日(日)
	13日(土)	6月	6日(日)
	14日(日)		12日(土)
	28日(日)		13日(日)
7月	5日(日)		20日(日)
	12日(日)	7月	4日(日)
9月	19日(土)		11日(日)
	20日(日)	9月	19日(日)
10月	4日(日)		20日(月)
	25日(日)	10月	24日(日)

※ 新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、多くの試験が延期になりましたが、ここでは当初の予定を掲載しています。

※ 市役所のA・B・C日程は年度ごとに変わることが多いので注意しましょう。特に近年は民間の採用テストを使用する自治体や、事前に早い日程で面接等の人物試験を行い、その後A～C日程の日時で筆記試験を実施する自治体が増えています。事前に選考過程を確認しておくことをオススメします (オリエンテーションブックP.327～参照)。

**Advice!**

日程がずれていればいくらかでも併願は可能ですが、2次試験以降で日程の重複が起こるケースは多くあります。「せっかく筆記試験に合格したのに諦めるのか…」という状況が起こり、相談に来るケースが少なからずあります。志望度の低い試験の人事課に問い合わせ、日程をずらしてもらえようをお願いすることもできますが、基本的にずらしてくれることはありません。ずらしてくれても「ウチは志望順位が低いんだろうな」と思われてしまいかねません。ですので、後々の日程重複は覚悟のうえで併願を多くしていくことが重要になってきます。

### 3. 主な試験種の実施形式（オリエンテーションブックP.17～参照）

筆記試験・人物試験の試験形式は主に以下のような内容に分かれています。

筆記試験			
択一試験（五肢択一式）		論述試験	
教養択一試験 （基礎能力試験）	専門択一試験	教養論文試験	専門記述試験

※ 国家公務員試験では「教養択一試験」ではなく「基礎能力試験」という名称になります。

人物試験		
個別面接	集団面接	集団討論

※ 他にグループワークやプレゼンテーションなどが課される試験種もあります。

多くの試験種において、**筆記試験（1次試験）→人物試験（2次試験以降）**という流れで選考が進んでいくことになります。**試験種ごとにどの試験形式を採用しているかは異なるので、志望する試験種の試験形式を事前に調べておく必要があります。**

試験時間・出題数		国家一般職	国税専門官	財務専門官	裁判所一般職	特別区Ⅰ類	東京都Ⅰ類B	埼玉県	千葉県	川崎市	横浜市
教養択一 （基礎能力）	時間(分)	140	140	140	180	120	130	120	120	※	150
	出題数(問)	40	40	40	40	40/48	40	40/50	40/50		50
専門択一	時間(分)	180	140	140	90	90	—	120	120		—
	出題数(問)	40/80	40/70	40/76	30	40/55	—	40/50	40/50		—
教養論文	時間(分)	60	—	—	60	80	90	75	90	80	60
専門記述	時間(分)	—	80	80	60	—	120	—	—	—	—
面接試験(◎：2回)		○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	◎
集団討論		—	—	—	—	—	—	—	○	—	—

(備考)

- 国家一般職：専門択一は8科目選択、論文は1次試験で実施。
- 国税専門官：専門択一は6科目選択、論文は5科目中1科目選択。
- 財務専門官：専門択一は4科目選択、論文は5科目中1科目選択。
- 裁判所一般職：論文は1次試験で実施、専門記述は憲法のみ。
- 特別区Ⅰ類：論文は1次試験で実施、平成27年度から面接は1回のみ実施。
- 東京都Ⅰ類B：専門記述は10科目中から3科目選択、平成27年度から面接は1回のみ実施。
- 千葉県：論文は1次試験で実施。人物試験として個別面接を1回、集団討論を1回実施。
- 川崎市：択一試験は「総合筆記試験」（知能系(教養)20問程度・知識系(専門)40問程度、計60問で180分)を実施。
- 横浜市：論文は1次試験で実施。人物試験として個別面接を2次・3次に実施。



#### Advice!

国家一般職や特別区Ⅰ類のように、**教養択一・専門択一・教養論文**の3つの筆記試験が出題されるところが比較的多いといえます。東京都Ⅰ類Bは地方上級の中でも少数派の出題形式といえるでしょう。

## 4. 主な試験種の試験内容・試験結果

### (1) 教養択一試験・専門択一試験の概要（オリエンテーションブックP.21～22 参照）

教養択一(基礎能力) 出題数	一般知能分野						一般知識分野														合計 出題数 問	合計 解答数 問	解答時間 (分)	
	数の処理			文章理解			人文科学				自然科学				社会科学				時事					
	数の 推理	判断 推理	空間 把握	資料 解釈	現代 文	英文	世界 史	日本 史	地理	思想	文学・ 芸術	数学	物理	化学	生物	地学	法律	政治		経済				社会
国家一般職	5	6	2	3	6	5	1	1	1	1	—	—	1	1	1	—	1	1	1	—	3	40	40	140
国税・労基・財務	5	6	2	3	6	5	1	1	1	1	—	—	1	1	1	—	1	1	1	—	3	40	40	140
裁判所一般職	6	6	4	1	5	5	1	1	1	1	—	—	1	1	1	1	3	1	1	—	—	40	40	180
特別区Ⅰ類	5	6	4	4	5	4	1	1	1	—	—	—	2	2	2	2	2	1	1	1	4	48	40	120
東京都Ⅰ類B(一般方式)	5	3	4	4	4	4	1	1	1	—	1	—	1	1	1	1	1	1	1	—	5	40	40	130
横浜市	6	8	2	1	3	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	3	1	12	50	50	150	
地方上級全国型	6	5	4	1	4	5	2	2	2	—	—	1	1	2	2	1	3	1	3	5	50	50	150	
地方上級関東型	5	3	3	1	4	5	3	3	2	—	1	1	1	2	2	1	3	1	3	6	50	40	120	
市役所A日程	5	4	4	1	3	3	2	2	2	—	—	1	1	1	2	1	1	1	1	5	40	40	120	
市役所B日程	4	4	4	2	3	3	2	2	1	—	—	1	1	1	2	1	1	1	3	4	40	40	120	
市役所C日程	7	5	3	3	5	4	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	5	40	40	120	
国立大学法人等	6	4	2	1	3	4	2	2	2	2	—	1	1	1	2	1	2	2	2	—	40	40	120	

※上記は、過去の試験情報を元に作成しています。ゴシックの数字は必須解答です。

※横浜市は教養択一試験の形ですが、社会科学の出題に専門科目の内容が一部問われています。

※市役所の「空間把握」は「判断推理」の中に含まれており、試験要項では通常示されません。

専門択一 出題数	法律系							経済系							政治系							その他										合計 出題数 (問)	合計 解答数 (問)	解答時間 (分)					
	憲法	民法(債権・親族・相続)	民法(総則・物権)	行政法	刑法	労働法	商法	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	経済事情	経済政策	経済・財政史	労働経済	政治学	社会学	社会政策	国際関係	社会事情	労働保障	経営学	会計学	労働事情	英語(基礎)	英語(一般)	英語(商業)	情報工学	情報数学	統計学	心理学	教育学								
国家一般職	5	5	5	5	—	—	—	5	5	5	—	—	—	5	5	5	—	5	—	—	5	—	5	—	5	5	—	—	—	—	5	5	80	40	180				
国税専門官	3	6	3	—	—	2	2	2	6	2	—	—	—	3	—	2	—	1	—	—	6	8	—	—	6	6	6	6	—	—	—	—	70	40	140				
財務専門官	6	5	8	—	—	1	3	3	6	2	—	—	—	3	—	3	—	—	—	—	6	6	—	—	6	—	6	6	6	—	—	—	76	40	140				
労働基準監督官A	4	5	4	3	7	—	9	—	4	—	3	—	—	2	—	—	—	—	—	2	—	5	—	—	6	—	6	6	6	—	—	—	48	40	140				
裁判所一般職	7	13	—	10	—	—	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	30	90				
特別区Ⅰ類	5	10	5	—	—	—	5	5	5	—	—	—	—	5	5	5	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55	40	90				
地方上級全国型	4	4	5	2	2	—	5	4	3	—	—	—	—	2	2	—	3	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	40	120				
地方上級関東型	4	6	5	2	2	—	5	6	4	—	3	1	—	2	2	—	3	3	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	40	120				
市役所A日程	5	5	6	—	—	—	10	3	—	—	—	—	—	2	2	—	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	40	120				
市役所B日程 必須解答	4	4	5	2	2	—	6	5	3	—	—	—	—	2	2	—	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	40	120				
市役所C日程 行政S-6 行政S-8	憲法、行政法、民法、経済理論、経済政策・経済事情、財政学・金融論、社会政策、政治学・行政学、国際関係、社会学・教育学の10分野・各5問の中から、S-6は6分野30問選択、S-8は8分野40問選択																																		50	30	90	40	120

※上記は、過去の試験情報を元に作成しています。ゴシックの数字は必須解答です。

※国家一般職は16科目から8科目を選ぶ科目選択制です。財政学・経済事情は合わせて1科目です。

※特別区Ⅰ類は問題選択制です。55問中40問を任意に選択解答します。

※市役所B・C日程は必須解答の方式、もしくは選択解答方式として行政S-8(8分野40問選択・120分)、行政S-6(6分野30問選択・90分)があります。



#### Advice!

まずはTACのカリキュラムで「基本講義」に設定されている科目から勉強を進めましょう。  
どの試験であっても出題数の多い科目、すなわち**共通項から攻める**発想が大事です。

## (2) 教養論文試験…令和3年度(2021年度)実績 (オリエンテーションブックP.26 参照)

## 国家一般職 (60分・1題)

厚生労働省「国民生活基礎調査」による我が国の「子どもの貧困率」は、2018年時点で13.5%と、子どもの約7人に1人が貧困線\*を下回っている。このような状況に関して、以下の資料①、②、③を参考しながら、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

なお、同調査における「子どもの貧困率」とは、17歳以下の子ども全体に占める、貧困線に満たない17歳以下の子どもの割合のことである。

\* 貧困線とは、等価可処分所得の中央値の半分の額をいい、等価可処分所得とは、下記により算出した所得である。なお、2018年の貧困線は127万円である。

等価可処分所得＝(総所得－抛出金(税金や社会保険料))÷ $\sqrt{\text{世帯人員数(所得のない子ども等を含む)}}$

(1) 我が国の子どもの貧困問題が社会にどのような影響を及ぼすのか、子どもの貧困に関する現状を踏まえながら、あなたの考えを述べなさい。

(2) 我が国が子どもの貧困問題に取り組む上でどのようなことが課題となるかについて、あなたの考えを具体的に述べなさい。

資料① 子どもがいる現役世帯の貧困率等の年次推移 出典：厚生労働省「2019年 国民生活基礎調査の概況」を基に作成

資料② 子供の大学等進学率の内訳(2017年) 出典：第6回 子供の貧困対策に関する有識者会議(2018年5月17日開催)

資料③ 「子供の貧困に関する指標の推移」を基に作成

資料④ 子供の貧困に関する指標(抜粋) 出典：「子供の貧困対策に関する大綱」(令和元年11月)を基に作成

## 裁判所一般職 (60分・1題)

オンラインによるコミュニケーションの普及によって、社会生活や私生活におけるコミュニケーションがどのように変化していくと考えられるか、変化に伴い生じると考えられる問題とともに論じなさい。

## 特別区I類 (80分・2題中1題選択)

1 東京都では昨年、転出者数が転入者数を上回る月が続きました。転出超過等によって人口が減少すると、税収の減少や地域コミュニティの衰退など様々な問題をもたらします。

また一方で、特別区の抱える公共施設の多くが老朽化しており、人口減少がもたらす更なる社会変化に対応した、施設の企画・管理・利活用が求められています。

このような状況を踏まえ、区民ニーズに即した魅力的な公共施設のあり方について、特別区の職員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを論じなさい。

2 国際目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」では、持続可能な生産消費形態を確保するため、天然資源の持続可能な管理や効率的な利用をめざすことが必要であると示されています。

特別区においてもその目標達成に向けた一層の取組が求められており、食品ロスや廃棄物の削減を進めていくことが重要です。

このような状況を踏まえ、ごみの縮減と資源リサイクルの推進について、特別区の職員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを論じなさい。

## 東京都I類B(行政・一般方式) (90分・1題)

(1) 別添の資料から、誰もが安心して働き続けられる東京を実現するために、あなたが重要であると考えられる課題を200字程度で簡潔に述べよ。

(2) (1)で述べた課題に対して、都はどのような取組を進めるべきか、あなたの考えを述べよ。

資料1 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の関わり方 出典：厚生労働省「令和2年度 厚生労働白書」より作成

年齢階級別就業率の推移(東京都) 出典：東京都「平成31年・令和元年 東京の労働力(労働力調査結果)」より作成

資料2 初職の離職理由(平成29年度) 出典：内閣府「平成30年度 子供・若者白書」より作成



## Advice!

教養論文では何より「**公務員としての問題意識**」が評価の対象です。「**背景・原因→課題→取組**」の流れで書くと、わかりやすい答案になるでしょう。ただし、特に「**取組**」は用意されたものにこだわらず、**自分なりに問題と向き合って論述すること**を心がけてください。

## (3) 専門記述試験…令和3年度(2021年度)実績 (オリエンテーションブックP.23 参照)

試験種	内容	
国税専門官	80分	5科目中1科目選択(憲法・民法・経済学・会計学・社会学)
財務専門官	80分	5科目中1科目選択(憲法・民法・経済学・会計学・財政学)
労働基準監督官A	120分	2科目必須解答(労働法・労働事情)
裁判所一般職	60分	1科目必須解答(憲法)
東京都I類B (一般方式)	120分	10科目中3科目選択(憲法・行政法・民法・経済学・財政学・政治学・行政学・社会学・会計学・経営学)

## 東京都I類B(一般方式)(120分・10科目中3科目選択)

1. 憲法 憲法改正の意義及び手続について述べた上で、憲法改正の限界について学説に言及して説明せよ。
2. 行政法 行政立法の意義を述べた上で、法規命令及び行政規則について、それぞれ説明せよ。
3. 民法 連帯債権について説明せよ。
4. 経済学 ソローの成長モデルを用いて閉鎖経済における資本蓄積のメカニズムを説明し、貯蓄率の上昇が与える影響について述べよ。ただし、人口増加と技術進歩はゼロとする。
5. 財政学 政府間財政移転について、公平性、効率性の観点から機能及び課題に言及して説明せよ。
6. 政治学 マス・コミュニケーションの効果に関するクラッパの学説を述べた上で、マコームズとショー、ノエル＝ノイマン、ガーブナーが提唱した学説について、それぞれ説明せよ。
7. 行政学 日本における内閣機能の強化を図った中央省庁再編について、その背景及び内容を述べよ。
8. 社会学 ブルデューの文化的再生産論について述べよ。
9. 会計学 資産会計のうち、繰延資産について、その意義と範囲及び内容についてそれぞれ説明せよ。
10. 経営学 ポーターの競争戦略論について説明した上で、競争優位の源泉の考え方について述べよ。



## Advice!

専門択一の知識をベースに、模範解答をひたすら覚える作業が必要になります。100%知識の試験とすることができます。

## (4) 人物試験…令和3年度(2021年度)実績 (オリエンテーションブックP.27～28 参照)

試験種	形式	人数	備考
特別区I類	個別面接試験	受験者1:面接官3(約20分～30分)	平成27年度より1回のみ
東京都I類B	個別面接試験	受験者1:面接官3(約20分～30分)	平成27年度より1回のみ
国税専門官	個別面接試験	受験者1:面接官3(約15分～20分)	
裁判所一般職	個別面接試験	受験者1:面接官3(約30分～40分)	
国家一般職	個別面接試験	受験者1:面接官3(約10分～20分)	別途官庁訪問が必要



## Advice!

人物試験の評価はいわゆる「コンピテンシー評価型」と呼ばれるものです。過去の行動に着目して、「どう思ったか」ではなく「どう動いたか」が評価の対象になっています。



## (5) 各試験の配点比率…令和3年度(2021年度)実績 (オリエンテーションブックP.17 参照)

配点比率	国家一般職	国税専門官	労働基準監督官	財務専門官	裁判所一般職	埼玉県	神奈川県	千葉県	さいたま市	横浜市	千葉市
教養択一(基礎能力)	2	2	2	2	2	1	2	1	6	1	2
専門択一	4	3	3	3	2	1	2	1	4	—	2
教養論文	1	—	—	—	1	1	1	1	5	—	1
専門記述	—	2	2	2	1	—	—	—	—	1	—
人物試験	2	2	合否のみ	2	4	4	6	4	20	42	7
配点比率合計	9	9	7	9	10	7	11	8	35	44	12

※ 埼玉県・神奈川県・千葉市は人物試験として個別面接を2回実施しています。

※ 千葉県の人物試験には適性検査も含んでいます。



## Advice!

国家公務員試験は筆記重視 (特に専門重視), 地方公務員試験は人物重視という傾向です。

## (6) 試験結果 (オリエンテーションブックP.56~58 参照)

令和3年度(2021年度)		採用予定	申込者	受験者	1次合格	最終合格	1次倍率	2次以降倍率	最終倍率
国家公務員	国家一般職(大卒)*1	730	8,753	6,258	2,531	1,825	2.5	1.4	3.4
	国税専門官	1,500	13,163	9,733	7,415	4,193	1.3	1.8	2.3
	財務専門官	170	2,503	1,449	966	597	1.5	1.6	2.4
	労働基準監督官A	195	2,224	1,217	1,050	336	1.2	3.1	3.6
	裁判所一般職(大卒)*2	175	3,870	2,847	1,255	351	2.3	3.6	8.1
地方公務員	特別区I類(事務)	874	11,449	9,019	4,098	1,881	2.2	2.2	4.8
	東京都I類B(行政・一般方式)	85	2,313	1,507	252	110	6.0	2.3	13.7
	東京都I類B(行政・新方式)	25	616	443	83	31	5.3	2.7	14.3
	埼玉県(一般行政)	169	1,681	1,183	590	284	2.0	2.1	4.2
	千葉県(一般行政A)	70	1,030	699	220	129	3.2	1.7	5.4
	神奈川県(行政I)	101	1,361	873	473	159	1.8	3.0	5.5
	さいたま市(行政事務A)	90	1,097	798	316	153	2.5	2.1	5.2
	千葉市(行政A)	40	615	515	170	72	3.0	2.4	7.2
	横浜市(事務)	220	2,561	2,000	1,012	386	2.0	2.6	5.2
	川崎市(行政事務)	105	1,247	836	363	251	2.3	1.4	3.3
	相模原市(行政)	56	737	559	292	61	1.9	4.8	9.2

※ 「2次以降倍率」は(1次合格)÷(最終合格)で算出しています。

※1 国家一般職(大卒)の数字は、行政/関東甲信越の実施結果です。

※2 裁判所一般職(大卒)の数字は、東京高裁管轄の実施結果です。



## Advice!

筆記試験の倍率(1次倍率)が高く、人物試験の倍率(2次以降倍率)が低いのが、公務員試験の全体的な共通項といえるでしょう。筆記を確実に突破することが重要です。

## 5. オリエンテーションブックの使い方

### (1) 公務員の仕事の概要

ガイダンスでも触れるところですが、**オリエンテーションブック第1章 (P.3～)** に詳しく掲載されています。ちなみに、**第2章 (P.13～)** では公務員試験の概要の紹介、**第3章 (P.35～)** では公務員試験対策の全体の方針を紹介していますので、こちらも是非目を通しておきましょう。**第5章 (P.59～)** は試験データ集なので、特定の機関や自治体の試験概要をチェックして、勉強を進めるうえでの参考にしてください。

勉強当初から受ける試験種を絞っているという人はほとんどいないので、まずはここで仕事のイメージを掴んだ上で、特に興味を惹かれる仕事があれば、さらに公式ホームページなどをチェックしてみるとよいでしょう。現場で働く若手職員の声や説明会の情報が掲載されていることもあるので、より仕事のイメージが湧いてくるはずです。

**ホームページを調べて情報を収集する**という習慣は今のうちから付けておきましょう。公務員試験は**情報戦**でもあるのです。

### (2) 試験種と試験内容

気になった職種が見つかって、どのような採用試験なのかがわからなければ、効率的な試験対策ができません。そこで、続いては試験の内容を調べてみましょう。

#### ① 国家公務員－国家一般職(大卒・行政)の例

国家公務員については、個別のページから概要を調べることができます。ここでは一例として、**国家一般職(大卒・行政)**を調べてみましょう。

国家一般職の試験概要は **P.70～72** に記載があります。なお、このデータはあくまで令和3年度(2021年度)なので、受験の際には必ず当該年度の最新情報を確認してください。以下、特に重要な項目について簡単に解説します。

試験概要	試験の種目、出題を確認してください。「1次試験」は「基礎能力試験」、「専門試験」、「一般論文試験」の3つが課されます。つまり、 <b>専門記述試験は課されない</b> ということです。また、「2次試験」の「人物試験」では「個別面接」しか課されないということもわかります。なお、この「個別面接」とは人事院面接のことで、実際にはさらに非公式の面接として、それぞれの職場に出向いて「官庁訪問」をする必要があります (P.28 参照)。
配点比率	どの種目の比重が大きいか(大きく評価されるか)が読み取れるので、ここも非常に重要です。「基礎能力試験」は「2/9」、「専門試験(択一)」は「4/9」、「一般論文試験」は「1/9」、「人物試験」は「2/9」で、全体で「1」です。ここから、 <b>基礎能力試験と専門択一試験とでは配点割合が1:2であり、専門科目を重点的に勉強する必要があります</b> こと、また、一般論文試験はあまり評価に重きが置かれていないことがわかります。
筆記試験 出題科目一覧	ここでは科目ごとの出題数がわかるので、どの科目に力を入れるべきかの判断材料になります。また、専門試験(多肢選択式)については選択の仕方にも注意しましょう。「次の16科目(各5問)から <b>8科目を選択し、計40問解答</b> 」とあるので、 <b>科目ごとの選択である</b> ことがわかります。

## ② 地方公務員(地方上級)―東京都 I 類B, 埼玉県上級の例

地方公務員については、国家公務員と若干調べ方が異なります。ここでは例として**東京都 I 類B（行政・一般方式）**と**埼玉県上級（一般行政）**を調べてみましょう。

東京都についてはP.141～146, 埼玉県についてはP.133～137に掲載されています。どちらも国家公務員と同じ項目が挙げられており、同じように調べられます。

試験概要	東京都では専門択一が出題されず、専門記述が10問から3問を選択して解答すること、個別面接が課されることがわかります。 <b>埼玉県</b> では1次試験で教養択一、専門択一が課され、どちらも科目選択ではなく問題選択、しかも必須解答があること、論述試験については教養の論文が2次試験で課されること、人物試験には集団討論もあることなどがわかります。
配点比率	<b>東京都</b> は非公表です（ただし、TACのデータリサーチによりある程度は推測できますので、詳細は今後実施するホームルーム等でも紹介します）。 <b>埼玉県</b> は個別面接が「300」、それ以外が「100」なので、個別面接の比重が大きいことなどが読み取れます。
筆記試験 出題科目一覧	ここは <b>国家公務員と大きく異なる</b> ところです。択一について、 <b>東京都も埼玉県</b> も科目は示されていますが、出題数が示されていません。ここで、地方公務員試験の出題科目数についてまとめているのがP.21～です。東京都についてはそのままP.21で調べられますが、埼玉県については明示がありません。そこで、まずは択一試験の出題タイプを調べましょう。 地方上級の択一試験の出題タイプはP.18で大きく4分類に分けられており、P.19によれば、埼玉県は教養試験・専門試験ともに「関東型」です。それをふまえてP.21～22の「地方上級 関東型」の部分をチェックすればよいのです。

## ③ 地方公務員(市役所)―千葉県船橋市の例

②では地方公務員における地方上級試験（都道府県・政令指定都市）について説明しましたが、ここでは全国の市役所の試験情報について調べましょう。一例として、**千葉県船橋市（上級一般行政A）**の試験情報を調べてみます。

P.327以降に、全国の市役所に関する基本データが掲載されています。千葉県船橋市についてはP.337に記載されています。丸数字は試験のどの過程で課された試験かを示しています。船橋市[行政A]の場合、特に注記がないので、「教養択一」と「専門択一」は1次試験で課されることがわかり、同様に2次試験は「性格検査」「集団面接」「GD・GW」、3次試験は「個別面接」が課されることがわかります。

全体にざっと目を通してもらうと、千葉県内の市役所は専門択一が課されるところが多いなど、ある程度の傾向も読み取れますね。



### Advice!

オリエンテーションブックの内容は、今後勉強を進めていく上で必要な情報ばかりなので、しっかり目を通すようにしましょう。ただし、**試験概要は毎年変わります**。TACからも随時情報提供をしていきますが、皆さんも受験年度の情報を必ず収集するようにしてくださいね。

## 基本的な勉強方針

### 1. 筆記試験対策(総論)

最終合格に至るには、第一関門の筆記試験を突破しなければなりません。まずは筆記試験の突破のための戦略を立てることにしましょう。どの科目にも共通する勉強の姿勢から考えてみます。

#### (1) 公務員試験を突破するために必要なもの

ここまで試験の概要を調べてみてわかるとおり、公務員試験は科目数が膨大です。冒頭でも述べたとおり、公務員試験は要領の良さを要求する試験です。多くの科目をすべてまんべんなく完全に勉強しようとしていたのでは、何年あっても時間が足りません。完璧主義ではなかなか試験に合格するのは難しいのです。

では、限られた時間で少しでも合格に近づくために必要なものは何か。まずは一応の計画を立てることが大切です。ただ目の前にある多くの問題集をやみくもにこなすだけでは、効率的に対策を立てることができません。冷静に戦略を立てていきましょう。

#### (2) 勉強計画を立てるために必要な考え方…「質×量」

勉強の効果は質と量の両輪で成り立っています。質とは「理解」、量とは「慣れ」です。勉強量を増やすことができれば、質は多少下がっても補うことができますし、一方、勉強を始めるタイミングが遅く、勉強量を確保できないのであれば、勉強の質を上げる必要があります。

そうはいつても、学部で勉強したなどの基盤がないと、「質」を最初から高めて勉強するのは大変でしょう。したがって、「量」をこなすのがオススメです。公務員試験は学者になる試験ではありません。択一であれば、正しい選択肢を一つ選ぶことができればよいのです。本試験ではどの科目でも過去問が繰り返し出題される傾向にあるので、過去問をしっかりと解くことによって、問題に慣れていけばよいのです。問題演習の「量」が、応用問題を解くために必要な「質」に転化するということが、「量が質を凌駕する」ということを肝に銘じてください。

#### (3) どれだけの時間を確保するか

では、量を質に転化させるにはどれくらいの時間が必要でしょうか。一般的には、1,000時間あればよいと考えます。もちろん、この1,000時間の中にどれだけの質・量が含まれているかにもよるので、あくまで形式的な目安です。1日6時間で週6日勉強すると1週間で $6 \times 6 = 36$ (時間)、28週で $36 \times 28 = 1,008$ (時間)達成できます。一見大変そうですが、1日6時間の中には、講義や移動中の電車内での勉強、スキマ時間での勉強など、すべて含めて構いません。

#### (4) 勉強計画の(一応の)立て方

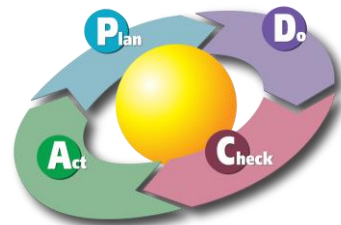
続いて、勉強計画をどのように立てるのか、考えてみましょう。これまで高校や大学受験の経験などで計画を立てたことがあれば、それを利用するとよいでしょう。もし、これまで勉強計画を立てたことがないというのであれば、以下を参考にしてみてください。

まず、計画を立てるうえで、以下の点をざっくりでよいので洗い出してみましょう。

- ☐ 科目ごとにどのような優先順位で勉強するか、目標として何割取るか
- ☐ 科目ごとの勉強期間はどれくらいか
- ☐ 科目ごとの勉強方法はどのように進めるのか
- ☐ 1日あたりの勉強時間はどれくらい確保するのか

これらを洗い出して、1週間ごとに計画を立てていくのがオススメです。ただし、これも真面目な人がハマりがちな傾向にあるのですが、**いったん立てた計画は当然修正して構いません。**いったん計画を立てると何が何でもこの計画どおりに事を進めないと気が済まないという人が多いのですが、**計画は守るためにあるのではなく、本試験で少しでも点数を上げるためにある**のですから、どんどん変えてしまいましょう。

よく言われるのが「PDCA サイクル」という手法です。最初から完璧な計画を立てるのは無謀です。したがって、勉強を進めながら、進捗状況をチェックしたうえで、上手く進んでいないのであれば随時修正するようにします。**Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)**という流れで勉強を進めることが大切です。



なお、計画を立てる際は必ず**予備日**を設定しましょう。弱点補強や計画の練り直しなど、柔軟に使える日を週1日は必ず設定してください。

#### <計画の立て方の例> 全体の状況を俯瞰できるような計画表にしましょう！

	月	火	水	木	金	土	日
朝	数処V問 No. 99~105	大学	ミクロV問 No. 25~35	憲法 Vテキ	大学	(予備日)	休養
昼	政治学V問 No. 6~18	数処 Vテキ	憲法V問 No. 50~65	大学	大学	(予備日)	
夜	数的処理 ⑥	バイト	政治学 ③	ミクロ経済学 ⑥	憲法演習 ②	バイト	

※ もっと時間帯を細かく分けてもいいでしょう。計画は時間より問題数で設定するとよいと思います。また、計画表とあわせて**勉強記録**もつけるようにしましょう。これまでの勉強の進み具合が目に見えると、やる気にもつながります。

#### (5) TACのカリキュラムに従って進めるという作戦

以上をふまえて自分なりの勉強計画が立てられればよいのですが、実際にはそうそう上手くいくものでもありません。**なかなか計画が立てられないのであれば、TACの教室講義の日程にあわせて進めるのもよいでしょう。**TACのカリキュラムは、後で解説する基本講義の科目(どの試験種においても出題数が多い科目)を優先的に勉強できるように作っていますから、これに従うのもひとつの手だといえます。通信生の方もぜひ参考にするとよいでしょう。

もちろん、講義を受けるだけで万全な対策ができるわけではありません。実際には、**講義に加えて問題演習のアウトプットを行う**必要があります。講義をペースメーカーにして、講義にあわせて問題演習を並行して進めていくイメージでやっていきましょう。

## 2. 教養択一試験・専門択一試験対策

では、択一試験の対策から、「どの科目に時間を割いて勉強すればよいのか」、「科目ごとの勉強の進め方」について考えてみましょう。

### (1) 基本講義の科目とそれ以外の科目

試験科目の出題数については前述のとおりです。科目数の多さに尻込みしてしまった人がいるかもしれませんが、その必要はありません。問題の作成者側も、すべての科目を勉強してほしいとは思っていません。繰り返しますが、**要領よくこなす**ことが求められているのです。

問題数は科目ごとに異なります。そして、よく出題される科目、多くの試験種で共通して出題される科目があります。したがって、ここをまずは重点的に勉強すべきなのです。

TACのカリキュラムをふまえると、**基本講義**の科目とそれ以外の科目に分けられます。

「基本講義」として設定されている科目	それ以外の科目
教養：数的処理、文章理解 専門：憲法、民法、行政法 ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学 政治学	TACで「選択講義」「一般知識講義」 「発展講義」として設定している科目

**まずやらなければいけないのは、「基本講義」として設定されている科目**です。これらは多くの試験種において共通して出題数の多い科目ですから、必ず優先的に取り組む必要があります。多くの時間を割いて勉強すべきでしょう。一方、それ以外の科目はさまざまな要素（志望する試験種で必須科目となっているか・多くの出題数があるか、過去に勉強した経験・素地があるか、自身が得意かどうか等）を勘案して、勉強しない科目も出てくることになるのです。

### (2) 基本的な勉強の進め方①…インプットとアウトプットの両輪を意識する

公務員試験を突破する上で、**インプットとアウトプットの両輪を意識することは必須**です。やみくもにインプットをしても、それが試験の現場で思い出せなければ点数につながりません。かといって、アウトプットだけをやみくもにしても、そもそも中身がないところからひねり出すことはできません。インプットとアウトプットはセットで行ってこそ得点力を上げることになるのです。

TACで勉強するのであれば、講義を受けることがインプット、復習の段階でVテキストやV問題集で演習することがアウトプットになります。**予習は不要ですが、復習は必ず行いましょう**。復習の方法も、単に講義でインプットした内容・解法パターンを見直すだけでなく、**問題を解きながら復習してください**。**アウトプットを通じたインプット**をすることが大切です。

演習を進める際に陥りがちなのが、間違えた問題をそのまま特に対処もせず放置してしまうことです。間違えた問題というのは、後で復習しようと考えて後回しにすると、たいてい間違えたことすら忘れてしまいます。正解できた問題を何度繰り返しても、そこで点数は伸びません。**間違えた問題を正解できるようにすることこそが合格に近づく方法**なのです。したがって、間違えた問題は必ず後で見直せるようにメモや付箋を残しておくことと、間違えた原因を明らかにしておくことを忘れないでください。

なお、復習でVテキストやV問題集を解く際の注意及びメモの残し方は(4)で後述します。

### (3) 基本的な勉強の進め方②…知識系科目と知能系科目

**知識系科目**とは、暗記量の多い科目（法律系・政治系など）です。これは、試験の何か月も前から完璧にしても、しばらく放置すると試験当日までに忘れてしまいます。暗記量が点数を左右する科目は、ある程度の下地を事前に作った上で、試験直前期にがっちり詰め込んで試験日に知識量のピークを迎えたほうが効率はよいのです。したがって、**最初から細かい知識を詰め込むのではなく、まずは全体の概要を掴むことを心掛けましょう**。そして、完全に忘れない程度に定期的に復習していく必要があります。**集中→放置のくり返し**がよいでしょう。講義翌日→1週間後→1か月後くらいのペースで集中的に復習を繰り返して、その後も一定のペースで記憶喚起をしていくと、放置しすぎずに記憶をキープできると思います。

一方、**知能系科目**とは、暗記量よりも実践に重点が置かれた科目（数的処理・ミクロ経済学・マクロ経済学など）です。これは、暗記することも大事ですが、その後の演習量がポイントになります。**解き方のコツを掴むためにある程度時間がかかる**のは避けられません。毎日30分、毎日3問など短時間で構いませんので、**毎日コツコツと進めてほしい科目**です。

### (4) 具体的な勉強の進め方

#### ① V問題集の取り組み方

重要科目については、V問題集を**3周**はしたいところです。質を高めれば回数は問題ではないのですが、前述のとおり質を高めるのは困難ですから、演習量で勝負しましょう。

ただし、V問題集を進めるにあたっては、以下のポイントに注意してください。

##### ① 最初の1周目は講義の復習の際に目を通して、解けなくても構わないので問題の形式に慣れること、問われ方を確認することに力を入れる！

完璧主義者が陥りがちなのが、1周目からすべて理解しようとすることです。それができれば苦労はしません。繰り返すことで少しずつ理解できてくるので、まずは問題を理解することに全力を注ぎましょう。**最初の1周目は授業の復習の段階で取り組んでほしいのですが、1周目では問題の問われ方を知ることがもっとも重要です**。「過去問は準備万端な状態になるまで触りたくない」という受験生が多いのですが、そのような几帳面さは捨ててしまいましょう。

##### ② 2周目以降が本番なので、全力で取り組む！

1周目が終われば、ひとまず問われ方をひととおり確認したことになるので、2周目に入ります。ここからが本番なので、しっかり解いてください。わからなかったものについては必ずメモを残しておいて、後で触れる機会を作ることが必要です。なお、**難易度や頻出度**も参考にしてください。

#### ② 問題演習の際のメモの残し方

V問題集に限らず過去問を解く際にも必ず心掛けてほしいのが、**問題を間違えた際の処理**です。解説を何となく読んでそのまま進むというのでは、せっかく解いた機会が無駄になってしまいます。その問題を**現在解いてどういう状況だったのかをしっかりと記録しておきましょう**。このようにすることで、間違えた問題であってもすぐに復習すべきもの、後に回してもよいもの、というように**見直しの優先順位**がつけられます。記録の付け方は人それぞれですが、必ず残してほしいのが、**解いた日の日付と現時点での理解度のランク**です。たとえば、次のページのようにA～Dなどのランク付けをするとよいでしょう。

理解度	A (100%)	B (70%以上)	C (30～70%)	D (30%未満)
補充する情報量	なし	少し	わりと	たくさん
得点の可能性	確実	十分	わりと	厳しい
対策の方法	時間をおいて定期的に繰り返す	解いたらすぐ知識を補充・確認し、時間をおいて繰り返す		科目・分野の重要度に応じてインプットし直す

要するに、あと少しで点数が取れるものはすぐ復習してしまったほうが効率はよいですが、理解が大きく足りないものは改善に時間がかかるので、後から別個に対策したほうがよいということです。したがって、まず早急に**理解度B**から復習すべきです。このような敗因分析は欠かさないようにしましょう。もちろん、理解度Aについても放置すればどんどん理解は薄れますから、あやふやな知識があったら定期的にメンテナンスをしてください。

### ③ 基本講義以外で勉強する科目のポイント

専門科目の「選択講義」「発展講義」の勉強方法は、後日試験対策ゼミで話をすることになりますが、教養科目はここで方向性を簡単に紹介しますので参考にしてください。ただし、**市役所などの教養のみの試験を目指す方は、「広く浅く」を考えてひととおり勉強しましょう。**

#### ① 教養科目は「捨て科目」を作らず、ひと通り受講したうえで「捨て分野」にとどめる！

科目を丸ごと捨てると、いざというときに得点がまったく見込めない事態に陥ってしまいます。1つの科目で2問以上出題される場合、難易度が低い基本も出題されますので、このような問題で細かく点を稼げるようにしましょう。そのためにも、**科目の中で分野ごとに捨てるかどうかを判断するとよい**と思います。たとえば、物理であれば「力学は捨てるが電気は勉強する」のような感じです。**広く浅く、つまみ食いでもよいので一通り勉強することが大事です。**

#### ② 取っ掛かりはまずは過去の勉強歴で判断するとよい！

そうはいつてもまったく初見の科目がとつきにくいのは仕方がないことです。まずは**高校で勉強したとか、大学受験で使ったとか、過去に勉強した科目から進めてみる**のがオススメです。

### ④ 最終的な目標

どの試験種においてもほぼ確実に択一を突破できる点数としては、**教養6割、専門7割**が目安です。専門は特に国家公務員試験において配点割合が高いことが多い点、専門のほうが得点しやすい点などが理由です。**くれぐれも満点は求められていません。**

## 3. 教養論文試験・専門記述試験対策

### (1) 教養論文試験の対策方法

まずは講義を受けましょう。教養論文はどのような「問題意識」を持っているかがポイントです。普段から**新聞を購読**するなどして、**社会に対する関心を高める**ことも有効でしょう。なお、新聞は教養論文のみならず、文章理解や時事対策、そして筆記試験突破後の面接対策にも役立つので非常にオススメです。記事の内容を鵜呑みにするのではなく、**自分の意見を持つ**ことが重要です。



## (2) 専門記述試験の対策方法

当然のことですが、**そもそも専門択一の勉強が進んでからでなければ書きようがありません。**したがって、勉強の開始時期にもよりますが、基本的には**専門記述対策講義のタイミングに合わせて対策を始めればよい**でしょう。模範解答を覚えて書けるように練習していきます。

## 4. 人物試験対策

対策自体は**筆記試験後から始めても間に合います**。勝手にハードルを上げて「流暢に話さなければ…」とか「すぐに受け答えしなければ…」とか、難易度を高くしてしまいがちですが、公務員試験の面接は民間と異なり、あまり自己主張の強い人は避けられやすいともいえます。**真面目に素直に、質問に対して的確に受け答えできればよいので、無理に自分を大きく見せようとしすぎないように気をつけましょう。適切にコミュニケーションが取れることが何より大切**です。

また、模擬面接を担当していると、覚えたことをそのまましゃべる人を見かけます。暗記したことをそのまま話しているかどうかは、面接官からすればすぐ見破れます。面接カードに書いた内容をそのまま話す人も多いのですが、それは面接カードを読めばわかるのであって、わざわざ面接をする意义がありません。**覚えたことをそのまま吐き出すという考えは捨ててください。**

もちろん、**どのような質問が聞かれるか、それに対してどのような話をしていくか、方向性を事前に準備しておくことは非常に重要**です。ただ、そのメリットは覚えたことを言えば済むからではなくて、あくまで**精神的な安定という意味も大きい**と思います。聞かれる内容が事前にわかれば、心の余裕も生まれ、質問に対する回答を冷静に考えることができるからです。メンタル面で落ち着けるのが一番のポイントであって、回答に正解があるなどと思っていはいけません。

もし仮に正解があるとすれば、それは**面接官に対して「この人と一緒に仕事がしたいなあ…」、「この人ならウチで役に立ってくれそうだな…」と思わせるような回答**です。そう思わせるためには、「自分」という人間の適切な伝え方や立ち居振る舞いを最低限身につける必要があります。そのために**面接対策講義**があるのです。難しいことを言わなければいけないとか、これを言えば受かるとか、余計なことを考える必要はありません。

ただ、今のうちから考えておくとよいのは「**やりたい仕事**」です。志望動機や自己PRはすべてここから導かれるものです。たとえば、志望動機は「仕事安定している」、「収入が安定している」、「福利厚生がしっかりしている」なのかもしれませんが、それを話したところで、面接官が採用したいとは思いません。最初のきっかけは自分本位な理由だったとしても、やはり何かしら**公務員として働く意義・公務員としてやりたいことがある**べきです。何となく公務員試験を目指したという人であれば、このようなやりたい仕事・理想像を探すことから始めましょう。

**仕事は今後の人生の約3分の1を占める非常に大きな要素**です。それをただ単に「安定しているから」などと消極的に受け身にとらえて済ませてしまっただけで、納得がいくのでしょうか。「公務員になったらゆくゆくはこういう仕事がしたい!」とか、「公務員としてこういう人間でありたい!」など、**公務員になった後のビジョンも思い描いてみましょう**。これは面接だけでなく**筆記試験の勉強のモチベーション維持**にもつながります。今後、試験種ごとに業務説明会などが行われます。各機関、各自治体の主催のみならず、TACの校舎内でも行われるので、是非このような場に参加して、公務員という仕事の意義を探してみてくださいね。

## 5. 科目ごとの特徴

一応の目安ですが、科目ごとの特徴を簡単に紹介します。実際には**科目の講師に聞いてみる**のが一番です。勉強の進め方については、科目の初回の講義で講師から説明があるはずですので、それを参考に見てみましょう。もし疑問などがあれば、直接質問してくださいね。

### (1) 教養科目…個人差が大きいので、それをふまえて勉強する。負けないように！

数的処理	最低限 <b>5 割</b> は確保したいです（目標は <b>6 割</b> 以上）。数的推理、判断推理、空間把握、資料解釈の4つの分野に分かれています。問題に応じた解法パターンと着眼点を身につけ、それを実戦で使いこなせるようにする必要があります。 <b>問題数が多く教養試験の勝敗のカギを握っている科目</b> なので、毎日演習を積んで正確に速く解けるようにしましょう。
文章理解	<b>8 割</b> が目標です。主に現代文と英文が出題されます。毎日数問ずつでも問題を解いて、解法のテクニックを磨いて短時間で解けるようにしましょう。
人文科学	<b>5～6 割</b> が目標です。範囲が非常に広いので、過去に勉強したことがある科目を優先的に選択しましょう。頻出テーマを中心にコツコツと学習することになります。Vテキストを読んで、その時代・テーマを理解してからV問題集を解きましょう。
自然科学	<b>4～5 割</b> が目標です。文系の受験生は捨て科目にしがちですが、問題のレベルはそれほど高くなく、ニュースでも取り上げられる身近な問題についての出題も多いので、 <b>少なくとも 2～3 科目は勉強すべき</b> です。特に生物・地学は暗記で乗り切れる科目なのでお勧めです。頻出テーマを中心に勉強するとよいでしょう。
社会科学	<b>7～8 割</b> が目標です。 <b>専門試験で勉強する法律・経済・政治系の基本的な知識が問われるので、専門科目を勉強していればインプットで新たに勉強する必要はほとんどありません</b> 。後述する時事問題と社会科学特有の分野を過去問で潰していけばよいでしょう。
時事	<b>6 割</b> が目標です。純粋に覚えているかどうかで差がつく科目なので、講義を受けたうえで最新の時事に関心を持っておきましょう。 <b>普段から新聞を読むなどの習慣をつけておくと、いざという時に役立ちます</b> 。

### (2) 専門科目…個人差が小さく、やった分だけ点数が伸びる。積極的に差をつける！

法律系	<b>憲法・民法・行政法を中心に勉強しましょう</b> 。憲法は法律系の中で一番なじみやすい科目で、重要条文と判例を丁寧に理解すれば得意科目にできます。行政法は行政に関する様々な法律に共通するルールをまとめて勉強する科目なので、抽象的な点があり、最初は理解に苦労するかもしれません。しかし、内容的には難しくなく、体系的な理解ができれば本試験でも得点源にすることが可能です。民法は範囲が非常に広く理解するのに時間がかかる科目なので、ゼロからスタートする人はあまり深入りせず基本的な問題を全体的に理解できれば十分でしょう。 <b>勉強を地道に積み重ねることが重要</b> です。
経済系	<b>地方上級では出題数が多く合否のカギを握る重要な科目</b> です。経済学は、世の中の出来事を数式（モデル）を用いて説明する学問です。経済の専門用語（定義）→数式→グラフはそれぞれ世の中の事象を説明しています。苦手にする受験生が多いですが、それは連立方程式・微分やグラフの読み書きを押さえていないからであって、 <b>出題内容と出題パターン（文章正誤式、計算問題、グラフ問題）はある程度限られています</b> 。早期の学習がポイントです。最初は問題と解答を同時に見ながら問題を解き、Vテキストを再確認してから、次は何も見ないで問題を解く…というのを繰り返すとよいでしょう。真面目な人ほど理解にこだわって点数が伸び悩むので、 <b>パターンで解き方を覚えてしまうのが得策</b> です。 <b>経済原論（ミクロ経済学・マクロ経済学）を勉強した後で、経済原論をベースにして重複部分も多い財政学・経済政策を勉強していくべきです</b> 。経済原論は他の経済系科目と重複する部分も多いので、しっかり勉強すれば他の科目も得意にすることができます。

政治系	<p><b>専門科目の中では一番の暗記科目</b>です。政治学は覚える知識量が膨大で、攻略するのにある程度時間がかかりますが、経済系・法律系に比べると、ひたすら知識（政治制度や歴史、学者名と学説）の暗記という性格が強い科目です。政治学・行政学・社会学などの<b>科目間の関連性が強い</b>点も特徴といえます。暗記が得意なのであれば、ある程度直前期に回して、ひたすら頭に叩き込むという戦略も考えられるところでしょう。</p>
選択科目	<p><b>受験する試験種に必要な科目だけ勉強すればよい</b>でしょう。選択科目として、<b>労働法・刑法・行政学・社会学・社会政策・国際関係・経営学</b>などがありますが、基本的にいずれも出題数は少ないといえます。</p> <p>たとえば、特別区が第一志望であれば行政学・社会学・経営学が選択できるので、他の併願先との兼ね合いによって勉強することになるでしょう（個人的には是非ともオススメです）。地方上級が第一志望であれば、労働法・行政学・社会学・社会政策・経営学などまで勉強を広げることになります（なお、神奈川県など関東型の試験であれば、さらに国際関係なども勉強が進められると科目選択の幅が広がります）。志望先がある程度決まってきたら、選択できる科目を増やして少しずつ勉強していくとよいでしょう。</p> <p>なお、選択科目の取り方については担任からもアドバイスしていきます。「<b>選択講義の取り方</b>」の試験対策ゼミなども実施しますので、是非そちらに参加していただいて、基本講義以外の科目も着実に進めていきましょう。</p>



## Advice!

最後に、科目の勉強の仕方について強調したいことがあります。それは、**例年多くの受講生が「なるべく勉強科目を減らそう」という安易な方向に流れてしまう傾向にある点**です。科目を減らせば当然併願できる試験種が減るので、かえってリスクを高めることになりかねません。特に東京都の志望度が極端に高い人は、その傾向が強いといえます。他にも「公務員の試験は絞って民間で…」という方もいますが、民間が公務員と比較にならない超高倍率であること、民間は公務員以上にエントリーシートを書く時間がかかることも覚えておきましょう。「民間を併願すればリスクの分散になるだろう」と短絡的に考えるのは危険です。民間も併願するなら志望度の高い業界・企業を絞ったうえで、本当に仕事がしたいといえる企業を受けてください。単に「併願先を増やしたい」だけであれば、公務員試験を複数受けていったほうが楽だと思います。

以上をふまえて各自判断してください。**真面目な人ほど「すべての科目を完璧に対策したい」「こういう試験勉強の仕方でないといけない」などというこだわりを持ってしまいがち**ですが、あくまで勉強は「**広く浅く**」でよいのです。基本問題を確実に得点できれば合格ラインに乗るわけですから、**完璧主義的発想は捨ててしましましょう**。

ちなみに、「**入門講義**」についても簡単に紹介します。「数的処理」は自然科学の「数学」とは異なる科目です。**高校数学の知識は基本的になくて問題ありません。中学数学までの知識があるかどうか、特に計算がちゃんとできるかどうか**がポイントです。平方根の計算、素因数分解、方程式の解き方などからまったく思い出せない…というのであれば、入門講義をひととおり視聴する必要があります。もちろん、本編の数的処理の講義の中でもある程度「復習」としては触れますが、すべてを解説することはできないので、**中学までの知識、特に計算力を補う形で入門講義が設定されている**と考えてください。

## TACの使い方・まとめ

受講ガイド・TAC利用ガイドはTACの「取扱説明書」ですので、わからないことがあったら参照してください。なお、**マイページ登録**はTACのサービスを受けるために必須ですので、**必ず行ってください**。また、講義の際には出欠確認を行います。会員証に掲載されているQRコードをスキャンしますので、**会員証は必ず持参してください**。忘れた場合は、受付で仮会員証を発行してもらうようにしてください。

講義日程	日程表を参照	
受講教室・自習室	「今日のTAC」,「教室情報」	
教材（テキスト）	完成済みの教材は受付にて随時配布・通信生の場合は随時発送	
フォローシステム	① ビデオブース振替/重複フォロー	※要 <b>会員証</b> (テキストを忘れた際の貸し出しなどでも使うので、講義の際は必ず携帯すること)
	② 振替受講	
	③ 重複受講（基本講義のみ）	
	④ <b>Web講義</b>	
質問・相談制度	① 授業終了後（どの授業でも可）	
	② 質問コーナー	
	③ 質問メール、質問カード	
	④ 合格者カウンセリング・座談会	
	⑤ <b>担任講師制度</b>	
ホームルーム	試験情報・学習法などを不定期に実施予定	
試験情報について	官公庁・自治体講演会、試験説明会	
公開模試、面接対策・官庁訪問対策	時期に応じて別途お知らせ	
Twitter	TAC公務員講座：@TAC_komuin	橋口武英：@tk_hashiguchi
		

## 最後に

細かい勉強方法も紹介しましたが、あくまで一例ですので、取り入れられるものがあれば試してみてください。まずはTACのカリキュラムにあわせて講義を受講して、講義をペースメーカーにしてアウトプットとしてV問題集で問題演習を並行して進めるという軸さえ保てれば、あとは難しく考えずにやってみるのが一番です。そして、勉強を進めていく過程で何か不安なことがあれば、すぐに担任や科目の講師に相談してくださいね。

地道な努力が実を結ぶのが公務員試験です。最終合格を掴むその日まで応援しています！